

コンクリート面及びALCパネル面

7章7節:アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ビルデック (標準仕様)

公共仕様No.
DNT-改修・7-3-01

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料	ビルデック	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

塗装仕様

表7.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷付けないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	-			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
5 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			乾燥後、表面を平らに研磨する。

(注) 1.ALCパネル面の場合は、工程4の前に合成樹脂エマルションシーラーを全面に塗付ける。ただし、アクリル樹脂系非水分散形の場合は塗料製造所の指定するものとする。
2.合成樹脂エマルションパテは、外部に用いない。
3.工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2の使い分けは、4.6.4[下地調整](a)及び(c)による。
4.新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程IIに代えて素地を十分乾燥させて、工程3を省略する。

表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
2 研磨紙ざり	研磨紙P220~240						清掃後
3 中塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
4 上塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	-
				20~30	スプレー		

(注) 1.下地調整の種類は、塗料その他の欄による。
2.モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。
3.コンクリート面の下地調整は、表7.2.5によるRB種とする。
4.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。

7.2.6 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整

コンクリート面及びALCパネル面の下地調整は表7.2.5により、種別は特記による。
特記がなければ、RB種とする。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。